

老健施設と

透析医療で

センペル逗子

クリニックを見学

介護・通院対策委員会

神尾一郎

11月27日（火）午後、介護・

通院委員会の神尾委員長、樋口事務局長、案内役の江崎理事と全腎協から金子常務理事、宍倉事務局員の五名で老健施設と透析治療で特徴的な医療を提供しているセンペル逗子クリニックを見学しました。

当該施設の場所はJR逗子駅から鎌倉方面へ向かい小坪トンネル手前にあります。このセンペル逗子クリニックの特徴は同一建物内に老健施設と透析クリニックを併設しており、老健に入所されている方が階の移動だけで透析治療が受けられるところにあります。見学前には横山

院長から開設からの経緯と将来への抱負を次のように語っていただきました。

（開設からの経緯）

平成15年に老健施設を併設する一般有床クリニックとして開設しました。当時は診療・介護報酬が削減され、療養病床の縮小、廃止が決まるなど医療を取り巻く厳しい経営環境が日本中を覆っておりました。そのような折、法人としてこれからの成長に何が必要かを考えた結果、医療の専門性を高めるべく平成19年に透析治療を開始しました。当初は透析機器2台より開始し、スタッフも経験が無かったため専門家を招き、講習と研修を開き教育に努めました。現在では透析機器を37台にまで増やし、高齢化して介護が必要となった透析患者様に対し、老健へ入所しながら透析が受けられる「介護透析」を行っております。このようにセンペル逗子クリニックは他に例のあまり無い透析施設であり、そこで培われたノウハウにより、透析患者様に喜んでいただいております。

（これからの計画）

現在、透析患者専門の高齢者住宅の建設を計画しています。建物の一階は50台の透析設備を備えたクリニック、その上階に住宅を備える地下一階地上五階建ての施設は平成25年夏に着工し、26年完成を目指しています。また入居される方々へは可能な限り経済的負担がかからないことを心掛け、透析を必要とされる皆様をサポートしていきたいと考えています。

（クリニックを見学）

お話の後約一時間にわたり、横山院長の案内のもと全館を見学しました。各階の構成は、1階Ⅱ透析室・クリニックの外來・事務所、2階Ⅱクリニック入院病棟・グループホーム・居宅介護支援事業所・逗子市地域包括支援センター、3階Ⅱ老健施設（認知症専門）、4階Ⅱ老健施設（一般棟）5階Ⅱリハビリテーション・デイケアとなっております。

（所感）

横山院長からは、お忙しい中長時間にわたってセンペル逗子クリニックのお話と館内の案内



右から 宍倉事務局員・金子常務理事（全腎協）、横山院長、樋口事務局長・神尾（県腎友会）

までしていただき、そのバイタリテイ溢れる行動力には説得力がありました。館内の至るところには女子美術大学のヒーリングアート（絵画）が施され、全館を通じて暖かみも感じられました。屋上や5階の部屋の窓からは建物裏側の竹林と散策道を眺めることができ、桜から紅葉まで四季の花々を楽しむことができるとのことで環境美化に努力されている様子も覗きました。全体を通じて、スタッフの方々からは明るい挨拶で歓迎され、また説明も分かりやすく快適な見学ができました。